

特定非営利活動法人

国境なき医師団日本

〒162-0045 東京都新宿区馬場下町1-1 早稲田SIAビル3階

Tel:03-5286-6123(代表) Fax:03-5286-6124

E-mail:office@tokyo.msf.org

[www.msf.or.jp](http://www.msf.or.jp)

# 活動 報告書

2009年 1月 → 12月

特定非営利活動法人

国境なき医師団日本

Activity Report 2009

January-December 2009

Médecins Sans Frontières Japan





国境なき医師団とは

医療援助を第一に

国境なき医師団 (MSF) は、非営利で国際的な民間の医療・人道援助団体です。危機に瀕した人びとへの緊急医療援助を主な目的とし、医師、看護師をはじめとするスタッフが、世界約70ヵ国で援助活動を行っています。1971年にフランスで設立されました。

独立・中立・公平

MSFはだれからも干渉や制限を受けることなく、助けを必要としている人びとのもとへ向かい、人種や政治、宗教に関わらず、分けへだてなく援助を届けます。

世論に訴える

援助活動の現場では、虐殺や強制移住など激しい人権侵害を目の当たりにすることもあります。MSFはそのようなとき、医療だけでは人びとの命を救うことができない現状を国際社会に証言します。

Contents

国境なき医師団憲章/10の原則 The Charter of MSF / 10 Principles of MSF	4
<b>MSF日本 2009</b>	<b>6</b>
会長・事務局長からの挨拶 Message from President & General Director	8
海外派遣実績 Field Staff Sent by MSF Japan	10
派遣地からの声 Voice from the Field	12
資金援助対象国 Countries Funded by MSF Japan	14
援助国からの声 Voice from the Field	16
財務ハイライト Highlight of Financial Report	18
財務報告 Financial Report	20
<b>MSFワールドワイド 2008</b>	<b>32</b>
活動地とネットワーク MSF Activity Map & Network	34
数字で見るMSFの活動 MSF Facts & Figures	36
謝辞 Acknowledgement	38

表紙・裏表紙写真：15年に及ぶコンゴ民主共和国の紛争が市民を追い詰める。マシシ国内避難民キャンプにて。  
© Sarah Elliott



**パキスタン**  
北西辺境州(NWFP)と連邦直轄部族地域(FATA)では、政府軍と反政府武装勢力との衝突で200万人以上が避難。パキスタンは南アジアで、乳幼児・妊産婦死亡率が最も高い国の一つだ。



パキスタンの北西辺境州チャルサダ郡のバロサ・キャンプで暮らす国内避難民の子ども。  
© Eymeric Laurent-Gascoin / MSF



# 国境なき医師団憲章

The Charter of MSF

国境なき医師団は  
苦境にある人びと、天災、人災、武力紛争の被災者に対し  
人種、宗教、信条、政治的な関わりを超えて  
差別することなく援助を提供する。

国境なき医師団は  
普遍的な「医の倫理」と人道援助の名のもとに  
中立性と不偏性を遵守し、完全かつ妨げられることのない  
自由をもって任務を遂行する。

国境なき医師団のボランティアは  
その職業倫理を尊び  
すべての政治的、経済的、宗教的権力から  
完全な独立性を保つ。

国境なき医師団のボランティアは  
その任務の危険を認識し  
国境なき医師団が提供できる以外には  
自らに対していかなる補償も求めない。

Médecins Sans Frontières provides assistance to populations  
in distress, to victims of natural or man-made disasters and  
to victims of armed conflict. They do so irrespective of race,  
religion, creed or political convictions.

Médecins Sans Frontières observes neutrality and impartiality  
in the name of universal medical ethics and the right  
to humanitarian assistance and claims full and unhindered freedom  
in the exercise of its functions.

Members undertake to respect their professional code of ethics  
and to maintain complete independence from all political,  
economic, or religious powers.

As volunteers, members understand the risks and dangers of  
the missions they carry out and make no claim for themselves or  
their assigns for any form of compensation other than that  
which the association might be able to afford them.

## 10の原則

10 Principles of MSF

1. 第一に医療援助活動  
Medical Action First

2. 証言活動  
Temoignage(Witnessing):  
An Integral Complement

3. 医療倫理の遵守  
Respect for Medical Ethics

4. 人権の擁護  
Defense of Human Rights

5. 独立性への配慮  
Concern for Independence

6. 公平性  
A Founding Principle: Impartiality

7. 中立性の精神  
A Spirit of Neutrality

8. 義務と透明性  
Accountability and Transparency

9. 自発的に参加する  
現地活動スタッフからなる組織  
An Organization of Volunteers

10. 同じ目的の下に集ったメンバーが  
運営する非営利の組織  
Operating as an Association



### コンゴ民主共和国

ウガンダの反政府勢力「神の抵抗軍(LRA)」  
による攻撃と政府の掃討作戦が北東部オリエンタル州オー・ウエレ地方からバ・ウエレ地方へと拡大、数十万人が避難を強いられている。



流れ弾による銃創が感染症を起こし、ニャンガラ病院に搬送されてきた55歳の女性。  
© Julie Rémy



MSF日本

**2009年の  
活動実績と財務****ウガンダ**

成人の6%がHIV感染者といわれ、他の感染症や栄養失調も深刻。また、コンゴ民主共和国での戦闘から逃れてきた市民が難民生活を余儀なくされている。



マディ・オベイ国内避難民キャンプのHIV/エイズ検査・治療施設でHIV陽性の少女と話す、MSFのカウンセラー。

© Brendan Bannon



## 前年を上回るご支援、ありがとうございました。 日本社会との連携を広げていく基盤作りも始動しました

未曾有<sup>みぞう</sup>の世界的金融危機の最中にあった2009年。先進国でも急速な経済の悪化が報道される中、途上国や最貧国への関心はおのずと薄れて、援助を命綱としている人びとは国際社会から見捨てられ、社会的関心から取り残されていきました。それは、私たち人道援助従事者が最も気がかりとする事態でした。社会全般が不況にあえぎ苦しい状況にあるときに、より厳しい状況の他者に気持ちが及ぶのだろうか、そんな危惧<sup>きぐ</sup>を抱かなかったかといえは嘘になります。けれど、2009年、国境なき医師団 (MSF) 日本に寄せられた民間からの寄付は前年を上回る結果となり、私たちの活動を後押ししてくださるご支援が、不況にあってもなお強いことを再確認し、大変励まされました。MSF日本のスタッフ一同を代表して、支援をしてくださったすべての方に心から感謝の意を述べたいと思います。ありがとうございました。

2009年を振り返ると、1月にはパレスチナでの戦闘激化で急増した被災者を治療するため、ガザ地区に空気で膨らませる大型エアートントの病院を建てて外科治療を提供しました。残念ながら、ほぼ1年経った今でも、現地の医療サービスは依然崩壊したままです。また、10月には再びアジア、太平洋地域を自然災害が襲い、フィリピン、インドネシア、サモアに甚大な被害が出ました。MSFはこれらの地域で緊急援助活動を展開、この際にも全国から多大なる支援をいただきました。一方で、患者の待つ国や地域へのアクセスが妨げられる状況も、依然高い壁となって私たちの前に立ちはだかっています。政治的理由により人道援助の介入が難しい場所での活動を維持していくことは、大きな挑戦です。活動地の治安と個人の安全の確保が国際援助の場でも大きく議論される昨今ですが、MSFにとっては、困難を乗り越え、より効果的な援助を迅速に人びとのもとへ届けるための方策を、いっそう深く模索する年でもありました。

国内に目を向けると、MSF日本から、さらなる啓発活動を社会に発信していくほか、日本の医療業界とより豊かな相互関係を築くことを目的として、現地援助活動で豊富な経験をもつ医師をメディカル・アドバイザーとして事務局に迎えるなど、日本社会との連携を広げていく基盤作りも始動しました。また、2008年に対象となったACジャパン(旧 公共広告機構)の支援キャンペーンは2009年も継続され、テレビや新聞などを通じて、MSF日本の広告が多くの方の目に触れる機会を得ました。

MSF日本から活動地への派遣回数も75回と前年を大幅に上回り、今後の成長に弾みがつきました。2010年もより多くの助けを待つ人びとに医療・人道援助を届けるため、スタッフ一同尽力してまいります。



© Brendan Bannon  
スーダンのニヨリ 難民キャンプで治療を受ける少年。



© Brendan Bannon  
ウガンダのマディ・オペイ避難民キャンプでマラリアの治療を受ける赤ちゃん。



© Masaya Noda  
ブルキナファソ北部のヤコで展開する栄養治療プログラムの様子。



© Anna Surinyach  
顧みられない病気、シャーガス病の診断を受けるボリビアの少女。

### Thank you for your even greater support in 2009

#### An attempt has started to broaden our ties with Japanese society

An unprecedented global financial crisis erupted in 2009. While a rapid economic slowdown was reported in industrial countries, interest in what is happening in developing countries and the poorest nations in the world waned. Those who depended on aid as their lifeline were neglected by the international community. It was the kind of situation that causes serious concerns in humanitarian organizations like MSF. We would be lying if we did not say we doubted at times whether people would care about less fortunate men and women in the world when their own entire society was going through economic hardships. However, in 2009, there were more donations from people to MSF Japan than in the previous year, underscoring the support for our activities even during the recession and encouraging us enormously. On behalf of the entire MSF Japan staff, we would like to express our profound appreciation to all the people who generously supported us during the year. Thank you so much.

Looking back on 2009, we set up a large inflatable tent hospital in Gaza in January and provided surgical services for a rapidly growing number of victims as the fighting in Palestine intensified. Unfortunately, the medical services in the area remain suspended today, nearly one year later. In October, natural disasters struck the Asia-Pacific region once again, inflicting crippling damage on the Philippines, Indonesia and Samoa. MSF launched emergency response in these areas, receiving unstinting support from people across Japan on this occasion as well. We still face formidable hurdles, however, with access to the countries and regions where patients are cut off waiting for us. It is a daunting challenge to maintain activities in places where humanitarian intervention is made difficult because of politics. Spirited discussions have been taking place in recent years over how to provide security and ensure the safety of international aid personnel in places where they work. For MSF, 2009 was a year in which we explored, ever more deeply, how we could overcome the obstacles towering before us and extend assistance swiftly and effectively.

In Japan, meanwhile, we initiated activities to broaden our links to Japanese society, launching an awareness drive, for instance. We welcomed a doctor with abundant MSF field experiences as a Medical Advisor in the office. This is part of our attempt to build deep mutually beneficial relations with the medical community in the country. Also, the aid campaign sponsored by the Advertising Council Japan (the former Japan Advertising Council), which began in 2008, continued, providing publicity opportunities for MSF Japan's activities through the newspapers and television.

MSF Japan sent 55 field staff to missions 75 times during 2009, a number larger than in the prior year, paving the way for its further growth in the future. In 2010, we MSF Japan staff remain united in our determination to provide medical and humanitarian assistance to all those people who are waiting for our support around the world.



国境なき医師団日本  
事務局長  
エリック・ウアネス

Eric Ouannes  
General Director  
Médecins Sans Frontières Japan



国境なき医師団日本  
前会長  
(2008年3月30日 - 2010年3月29日)  
井田 寛

Satoru Ida  
Former President  
Médecins Sans Frontières Japan  
(Mar 30, 2008 - Mar 29, 2010)



国境なき医師団日本  
新会長  
黒崎 伸子

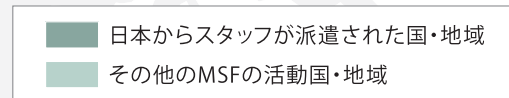
Nobuko Kurosaki MD  
President  
Médecins Sans Frontières Japan



## MSF日本から派遣された55人が24の国と地域で援助活動を行いました

2009年、国境なき医師団（MSF）日本からは計55人のスタッフが延べ75回、  
24の国と地域に派遣され、援助活動を行いました。

※ リストは2009年に現地で活動を開始した人が対象。



髄膜炎の予防接種と治療のプログラム  
[ナイジェリア/ロジスティシャン]



髄膜炎の予防接種と治療のプログラム  
[ナイジェリア/ロジスティシャン]

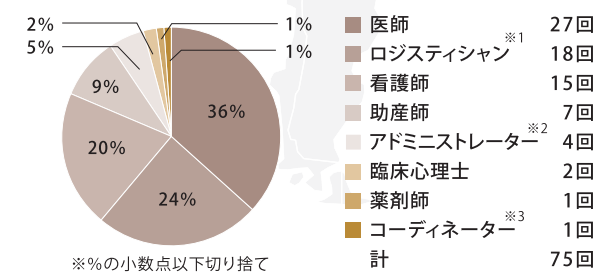


5歳未満を対象にした栄養失調プログラム  
[ブルキナファソ/薬剤師]



一般医療及び感染症治療などの医療施設支援  
[中央アフリカ共和国/助産師]

### MSF日本 海外派遣数 職種別割合



### MSF日本 海外派遣スタッフ出身地（都道府県）

東京 9人	千葉 3人	岩手 1人	鳥取 1人
北海道 4人	徳島 3人	富山 1人	海外/その他 5人
神奈川 4人	長崎 3人	岐阜 1人	計 55人
愛知 4人	群馬 2人	三重 1人	
京都 4人	兵庫 2人	大阪 1人	
埼玉 3人	宮崎 2人	奈良 1人	

※1 物資調達、施設・機材・車両管理等、状況に応じて医療・財務・人事以外の業務全般を担当。  
※2 現地活動の財務・会計・人事管理を担当。  
※3 現地プロジェクトの運営管理責任者。医療系と非医療系、いずれのスタッフが就くこともある。



ガザ地区での外科治療 [パレスチナ/麻酔科医]



保健省管轄の病院で外科医療を支援  
[スリランカ/外科医]



武力紛争による被災者への心理ケア  
[イエメン/臨床心理士]



武力紛争による負傷者への外科治療  
[イエメン/外科医]

#### ゲルジア

太田 靖子(看護師)

#### パレスチナ

三浦 由紀子(麻酔科医)  
初雁 育介(麻酔科医)  
井田 覚(ロジスティシャン)  
中川 崇(形成外科医)

#### パキスタン

豊島 さやか(助産師)  
徳間 美紀(助産師)

#### インド

萩原 健(ロジスティシャン)  
森田 光義(医師)  
松本 明子(看護師)

#### タイ

石塚 由実子(医師)

#### カンボジア

山住 邦夫(ロジスティシャン)

#### インドネシア

小野 不二雄(ロジスティシャン)  
ケビン・カヴァノー(ロジスティシャン)  
萩原 健(ロジスティシャン)  
田岡 知明(看護師)  
上平 明美(看護師)  
鈴木 操(看護師)

#### スリランカ

林 健太郎(麻酔科医)  
田岡 佳子(看護師)  
田岡 知明(看護師)  
久留宮 隆(外科医)  
黒崎 伸子(外科医)  
岩井 輝(外科医)

#### イエメン

熊澤 ゆり(アドミニストレーター)  
萩原 健(ロジスティシャン)  
ロジャー・ベガ・タバレス(医師)  
河野 暁子(臨床心理士) ※同国2回  
上田 創平(外科医)



スマトラ島沖地震への緊急支援  
[インドネシア/看護師]

### □ 海外派遣スタッフを募集しています。

MSF日本では、世界各地で活動を行う医療従事者(医師、看護師、助産師、薬剤師、臨床検査技師、臨床心理士)及びロジスティシャン(物資調達管理調整員)、アドミニストレーター(財務・人事管理責任者)などを常時募集しています。お気軽にお問い合わせください。

Tel: 03-5286-6161 (担当直通)  
E-mail: [recruit@tokyo.msf.or.jp](mailto:recruit@tokyo.msf.or.jp)  
[www.msf.or.jp/work/](http://www.msf.or.jp/work/)



## 日本ではすぐに治る病気でも 医療がなければ命がけの闘いに

50年にわたる内戦が南北包括和平合意で  
終結してから5年が経つスーダン。

しかし、南部の医療ニーズは依然として  
緊急レベルにあります。

アウェイで、コレラや栄養失調の治療と  
併せて始まった小児科・産科の医療プログラムに、  
2008年12月から2009年3月まで参加した  
産婦人科医の山本嘉昭医師の声を紹介します。

スーダン／医師

### 世界で一番医師が少ない国で技量を生かす

私はMSFが分娩支援を開始してから3ヵ月後に現地に入りました。何日も陣痛を我慢した末に担ぎ込まれる重症例、熱帯特有のマラリアや血性下痢などで重度の貧血を起こした例など、日本では経験のない症例をみました。日本では初期治療ですぐに治る病気でも、医療がなければこれほど命がけの状態になるのだと、厳しい現実とともに、医療が多くの命を救えることを実感しました。外科医はおらず、産婦人科医も1人だったので、帝王切開や他の手術、合併症や難産への対応も24時間体制で行いました。多忙を極めました。助産師はじめスタッフが丸となるチームワークに涙が出る日々でした。

10年ほど前から国際機関のサイトや発行物を見て、「生ま

れた国が違うだけで、子どもたちにはこんなにも環境の違いがある」事実が心に向いていました。日本でも産婦人科医師不足が指摘されますが、それでも日本は母子の死亡率は世界で最も低い国の一つです。せっかく産婦人科医師として仕事ができるのだから、世界で一番医師の少ない所へ行って、現実と向き合い、人びとはどんな気持ちで生きているのかを知りたいと思っていました。

その後、MSFのウェブサイトを見て、自分の医師としての技量が海外でも十分生かせる体制をもつ組織だと納得。MSF憲章にも感動して、50歳を過ぎて衰えていく体を実感する中で始めるのは早いほうがよいと決心し、2年間、体力の強化、英語の勉強、休職の段取りなどいろいろなハードルを乗り越えました。その過程では、夢が実現していく楽しさも経験できました。

現地で一番嬉しかったのは、劣悪な環境でも元気な子どもたちの姿です。未熟児でもしっかり母乳を飲む赤ちゃん、水くみなどをしながら遊びをいっぱい知っている子どもたち、現地スタッフとして活躍する10代の若者。母国をよくしてこうと誇り高く働く姿に、幸せとは何かを知っている彼らの心を感じることができました。



新生児を診療する山本医師。



### スーダン

ダルフル地方の混乱、南部の住民を襲う暴力の激化、病気の流行、治安悪化による医療団体への撤退命令など、2009年を通じて全土で医療・人道上の緊急事態が続いた。



1月、南ダルフルでの激しい戦闘は多数の死者を出し、3万5000人以上の人びとが家を追われた。

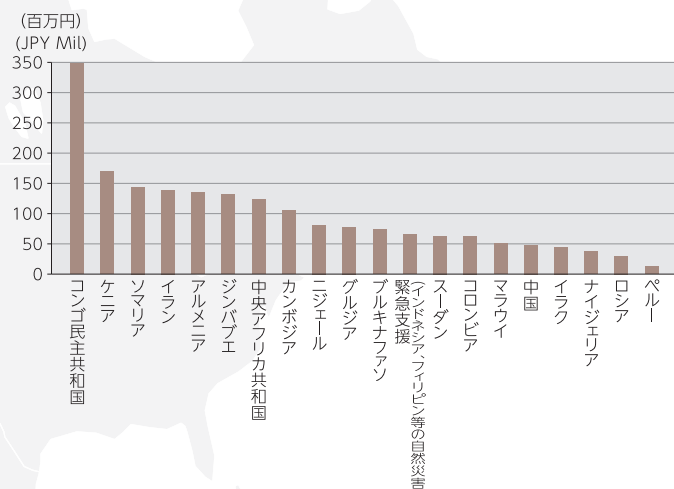
©Jan-Joseph Stok



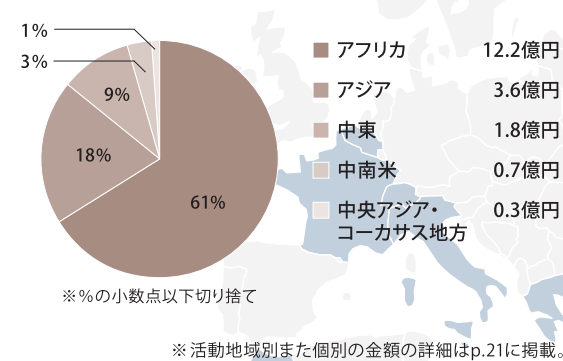
## MSF日本から、19の国と緊急支援に資金援助を行いました

2009年、国境なき医師団（MSF）日本に寄せられた資金は、紛争や貧困により危機にさらされた人びとに医療・人道援助を届けるため、プログラムを運営するオペレーション支部を通じて、19の国と緊急支援での活動に充てられました。

### MSF日本による国・緊急支援別実績



### 活動地域別実績及び割合



■ 日本から活動資金の送られた国  
■ その他のMSFの活動国・地域

#### ブルキナファソ

主なプログラム内容：栄養治療、HIV/エイズ治療、感染症対策



#### ジンバブエ

主なプログラム内容：感染症対策、栄養治療、HIV/エイズ治療



#### ケニア

主なプログラム内容：HIV/エイズ治療、結核治療、国内避難民の支援



#### ソマリア

主なプログラム内容：外科治療、栄養治療、感染症対策

#### コンゴ民主共和国

主なプログラム内容：基礎医療、栄養治療、外科治療、感染症対策、国内避難民の支援



#### カンボジア

主なプログラム内容：HIV/エイズ治療、結核治療、糖尿病治療





## エイズ治療が支える 患者の生きる喜びと地域社会

国境なき医師団(MSF)が医療援助活動を通じて  
目撃する世界的人道的危機。

2009年のMSF「10の最も深刻な人道的危機」にも  
挙げられたHIV/エイズは、開発途上国の患者を  
苦しめ続けています。

マラウイの人びとが生きる喜びを

取り戻すまでの年月をMSFの現地スタッフ、  
オレシ・エルマニ・パスラニ准医師が振り返ります。

マラウイ／准医師

### 継続と強化が求められるARV治療

2003年に、ここマラウイ南部のチョロ郡で抗レトロウイルス薬(ARV)治療が始まるまで、私たちが何万人ものHIV感染者とエイズ患者にできるのは、コンドームの使用を奨励し配布すること、そして、在宅ケアで患者の慢性疾患を治療し、終末期の緩和ケアを施すことだけでした。

患者が亡くなる日を待つだけなのです。本当に辛いことでした。治療法がない状況では、検査でHIV陽性と判定されることは死刑宣告を受けるのと同じ。人びとがどんなに打ちのめされるかを見ることになるのです。医療従事者にとっては本当に厳しく、働く意欲を完全にそがれてしまうほどでした。

そんな中、MSFはマラウイ保健省と標準化したHIV治療を開発し、2003年からチョロ郡でのARV治療が拡大されました。だれもが治療を受けられるようになり、何千人もの人びとの人生はもとより、地域全体の生活も一変したのです。2008年末までにはARV治療を受ける人数はさらに増加し、2009年もだれもが治療できる環境は維持されました。

いまでは、エイズ患者に気力があります。長い苦しみのあとに光が見えてきたのです。寝たきりだった患者を、6〜7か月後に市場や町の通りで見かけます。いま、彼らには生きる喜びがあるのです。

一方で、治療への資金援助が早期に打ち切られる恐れもあり、アフリカ・サハラ以南諸国の最もHIV/エイズが蔓延している地域の感染者に影響が出るのではと心配もしています。ARV治療を継続し、さらに強化することが重要です。

再び治療ができなくなれば、ARV治療がなかった頃よりも、さらにひどい状況になりかねません。地域社会と医療従事者が長年にわたり築き上げてきた信頼関係も崩れてしまうのです。治療を受ける権利、それは人びとが生きていくための権利なのです。



© Isabelle Merny / MSF

HIV/エイズの治療施設で検査・診療を受ける母子。



### マラウイ

93万人のHIV感染者を抱えるマラウイは感染率が最も高い国の一つで、15〜49歳の率は12%に及ぶ。毎年6万8000人がエイズで亡くなり、今も29万人が治療を待っている。



南部のチラズルでエイズの治療を受ける子ども。MSFは結核などエイズの日見感染症の治療も行う。

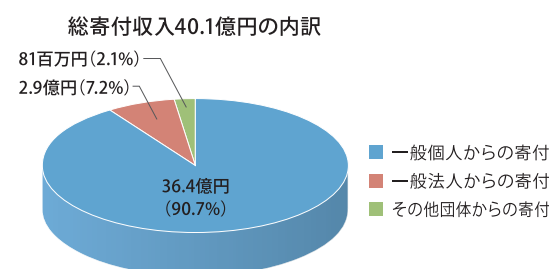
© Isabelle Merny / MSF



1999年の特定非営利活動法人（NPO法人）設立から11年、皆様からの厚いご支援に支えられ、国境なき医師団日本（以下、MSFJ）は年々法人として成長を遂げてまいりました（下記の棒グラフご参照）。昨今の世界的な経済低迷の最中でも、MSFの医療・人道援助活動が停滞することはありません。2009年度は地震や洪水等の相次ぐ自然災害が猛威を振るった1年でもありましたが、ここに1年間のMSFJの財務を総括いたします。

## 1. 総収入は、初めて40.1億円を突破

皆様からの絶大なるご支援、ご厚意により、2009年度のMSFJの総収入は前年度比で26.6%増加し、40.1億円となりました。

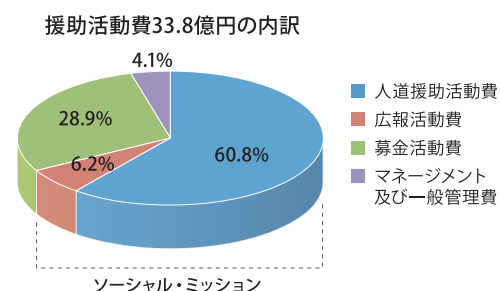


一般個人支援者数	169,033人
一般法人支援社数	6,821社
その他の支援団体数	2,604社
<b>延べ支援者総数</b>	<b>178,458</b>

支援者総数は、前年比で45%増加しました。このほか、役務・サービスという形でご支援も多くいただきました。

## 2. 援助活動費の総額は33.8億円

MSFJは2009年度予算に基づき、総額33.8億円を右記の活動に充当しました。経済不況を勘案し、収入・費用とも、やや控えめな予算でスタートした2009年でしたが、年度末にかけて、緊急支援を含めた活動に多大なご支援をいただいたことが上記の収入につながり、最終的に収支は6.37億円の余剰となりました。

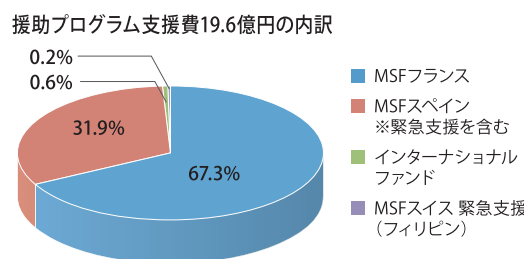


(百万円)	
① 人道援助活動費	2,053
・援助プログラム支援費	1,955
・国内でのプログラム・サポート費	98
② 広報活動費	209
③ ソーシャル・ミッション計(①+②)	2,262
④ 募金活動費	975
⑤ マネージメント及び一般管理費	140
<b>援助活動費合計(③+④+⑤)</b>	<b>3,377</b>

※詳細は、本活動報告書に掲載の決算書をご覧ください。

## 3. 援助プログラム支援費は総額19.6億円

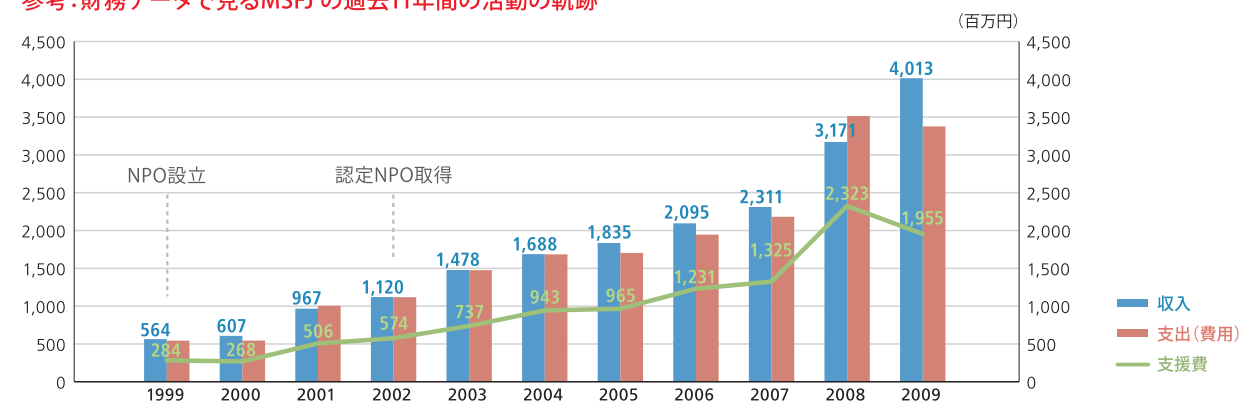
MSFは世界19カ国に支部があり、そのうちのオペレーション5支部が援助プログラムを運営しています。MSFJは2009年度に、パートナーシップ協定を結ぶMSFフランス及びMSFスペインが運営する世界各地での援助プログラム、及びMSFスイスの緊急支援プログラムに、援助プログラム支援費計19.6億円を分配しました。



(百万円)	
MSFフランス	1,315
MSFスペイン	624
※緊急支援を含む	
インターナショナルファンド	12
MSFスイス	4
緊急支援(フィリピン)	

※2009年度の支援費の国別分配額の詳細については、p.21をご参照ください。

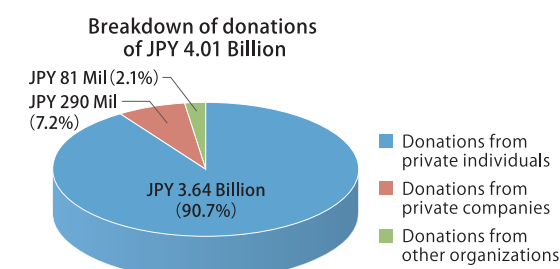
### 参考：財務データで見るMSFJの過去11年間の活動の軌跡



Thanks to continuous support by the donors, MSFJ has grown constantly since 1999 when MFSJ was established as NPO. (See below graph) Despite the worldwide economic slowdown, MSFJ does not stop its humanitarian operations. Looking back on 2009, several natural disasters took place one after another amid economic downturn. We would like to see the financial activities of MSFJ throughout 2009 as below.

## 1. Revenues reached to JPY 4.01 Billion

Thanks to your continuous support, MSFJ recorded JPY 4.01 Billion revenue in 2009 with 26.6% increase over 2008.

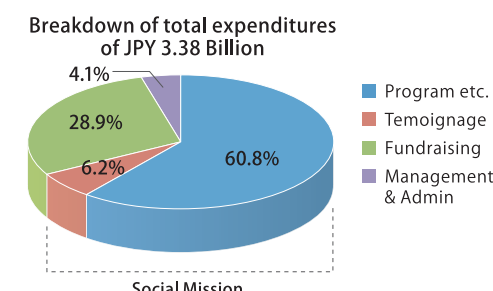


Private individuals	169,033
Private companies	6,821
Other organizations	2,604
<b>Total number of donors</b>	<b>178,458</b>

Donation from private individuals increased by 45% compared to 2008. MSFJ also received in-kind donations from many supporters.

## 2. Total operating expenditures were JPY 3.38 Billion

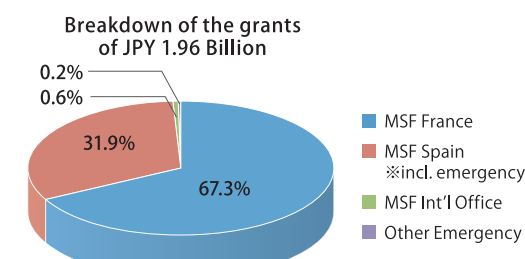
MSFJ allocated JPY 3.38 Billion to the following humanitarian operations. We started with conservatively planned budget for 2009, however we succeeded to achieve the abovementioned revenues thanks to huge supports at year end including emergency funds, which consequently brought us surplus of JPY 637 Mil for 2009.



(JPY Mil)	
① Program & program support	2,053
・Program(Grants)	1,955
・HQ Program support	98
② Temoignage	209
③ Social Mission (①+②)	2,262
④ Fundraising	975
⑤ Management & Admin	140
<b>Total (③+④+⑤)</b>	<b>3,377</b>

## 3. MSFJ allocated JPY 1.96 Billion to the grants to the field

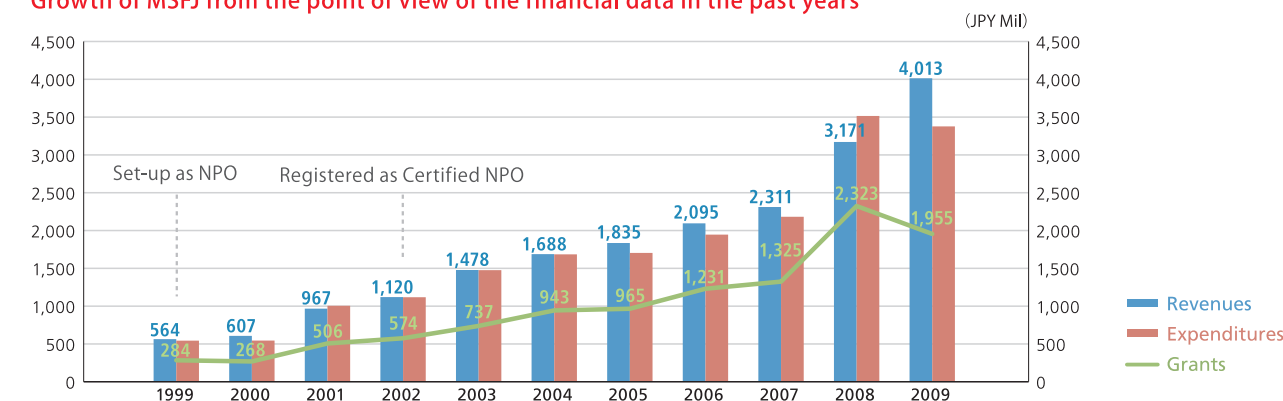
MSF has 19 sections including 5 operating centers who operate field programs. MSFJ has partnership agreements with MSF France and MSF Spain, under which agreements MSFJ sent grants amounting to JPY 1.96 Billion including grants for emergency cases to the programs.



(JPY Mil)	
MSF France	1,315
MSF Spain	624
※incl. emergency	
MSF Int'l Office	12
Other Emergency	4

Please see P.21 for further details of grants allocation by country.

### Growth of MSFJ from the point of view of the financial data in the past years





## 財務の概況

厳しい経済状況下にもかかわらず、支援者の皆様の厚いご支援により、国境なき医師団日本（以下、MSFJ）の2009年度の総収入は、前期比で26.6%増加し、40.13億円となりました。一方、総支出額は33.77億円、前期比で1.38億円減少（▲3.9%）しました。支出の内訳は、援助プログラム支援費及び日本国内でのプログラム・サポート費とで合計20.53億円。広報活動費が2.09億円。募金活動費として9.75億円。マネージメント及び一般管理費は1.40億円でした。各活動費の総支出額に対する比率は、ソーシャル・ミッション（人道援助活動費＋広報活動費）が67.0%、募金活動費が28.9%、マネージメント及び一般管理費が4.1%でした。以上の活動の結果、当期の収支は 最終的に6.37億円の余剰となりました。詳細は、主要財務諸表に記載のとおりです。

2009年度は、先行き不透明な日本経済の影響を見込んだ予想収益をベースにスタートしました。援助活動費は、当初はソーシャル・ミッション支出を抑え気味に、新規の支援者の開拓に重点を置き、同時に財務の安定性確保を目指す戦略で臨みました。毎月の定期的支援金が増加したこと、また夏のDMキャンペーンが奏功したこと、更に冬のDMに対して予想を上回るご支援をいただいた結果、総収入は40億年に到達しました。

一方で、プログラム支援費は、最終的に2008年度比で15.8%減少しました。政情不安による一部プログラムの撤退、あるいは活動地への投資計画の延期など、パートナーであるオペレーション支部の予算において資金ニーズの後退があった一方で、MSFJの通期収益は2009年度末に当初の予想を超えて改善、さらにオペレーション支部の資金状況も好転していたため、MSFJからの追加支援金の受け入れは困難な状況だったことが背景にあります。

それを受け、MSFJは、主に12月の増収に起因する手元資金の増加分については、当初の計画とおり、一部を2008年度に減少した剰余金の補填に充当し、残りは、「MSFJ 3ヵ年計画」の初年度である 2010年度に繰り越し、援助プログラム支援を中心に活用させていただくことにしました。MSFJは、常に日々のキャッシュフロー及びグループ全体の資金効率を考慮に入れて医療・人道援助活動に従事しておりますが、今後共支援者の皆様のご厚意に十分お応えできるよう、オペレーション支部とも連携をとり、よりフレキシブルで、より効率的な資金活用に留意する所存です。

## MSFJの財務上の基本方針

MSFJは世界各地での活動に対して人材面・資金面で積極的に関与すること、及び医療・人道援助活動に伴い見聞した現地の最新情報を広く社会に情報発信することを最大の使命とし、これらの活動に重点的に経営資源を配分しております。一方で、MSFJは海外での援助プログラムへの資金ニーズの拡大に対応するため、また日本国内でのプログラム・サポートに必要な資金を確保するため、新たな支援者への働きかけを積極的に推進しています。さらには長期的な観点から、不測の経済環境の悪化、あるいは大規模な自然災害発生時の緊急援助活動に円滑に対応できるよう、一定水準の剰余金を蓄積して財務基盤の安定化を図り、よりフレキシブルな医療・人道援助活動の展開、より持続的な事業の成長を目指します。

## Financial Review of 2009

Thanks to continued support from our donors, total revenues in 2009 increased by 26.6% compared to 2008 to JPY 4.01 Billion amid the continuing economic downturn. On the other hand, total expenditures decreased by 3.9% to JPY 3.38 Billion, which include Social Mission Expenditures (grants + domestic supports and temoignage) JPY 2.26 Billion (67.0%), Fundraising JPY 975 Mil (28.9%) and Management plus general administrative expenses JPY 140 Mil (4.1%). The above activities implemented throughout 2009 have resulted in a surplus of JPY 637 Mil. Please see the details in the financial statements.

We started 2009 with a conservative revenue forecast taking into account the unclear economic situation of Japan. The initial budget was formulated based on a strategy with conservative level of grants and with priority of investment in fundraising for potential donors, and a target of recovery of reserve level. An increase of monthly donations as well as successful DM campaigns in summer and winter made it possible for MSFJ to raise JPY 4.01 Billion in revenue.

On the other hand, grant contributions in 2009 decreased by 15.8% compared to 2008. This is partly because of cutbacks of funding needs in program budget of operating centers due to withdrawal from fields for reasons including unstable political situations and the postponement of planned investment in the field facilities. MSFJ saw a dramatic improvement of revenues at end of December 2009, it unfortunately could not be connected to additional grants contributions due to similar sufficient cash position in the operating centers.

MSFJ consequently decided to carry over these excessive funds mainly due to December revenues to the year 2010 to partly allocate for operational use in the "MSFJ 3-Year Plan" which will start from 2010, and partly to increase reserves which were heavily damaged in 2008.

MSF implements humanitarian activities making efficient use of funds. MSFJ would like to ensure efficient fund management in cooperation with operation centers in order to comply with the continuous support by the donors.

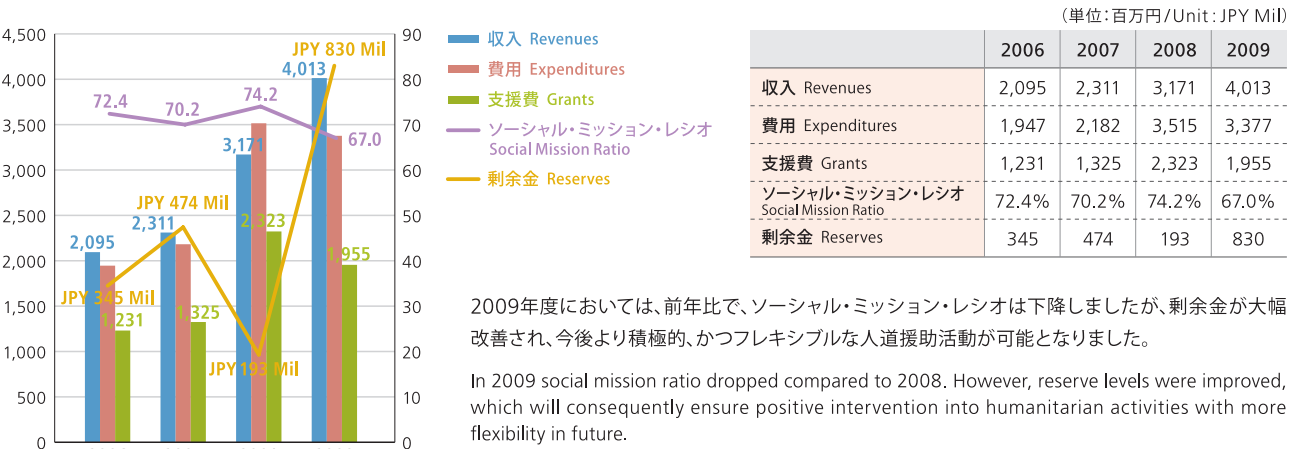
## Basic Financial Policy of MSFJ

MSFJ allocates resources not only for financial support but also for personnel support to the operation related activities as well as temoignage with higher priorities. In addition, MSFJ also allocates resources to fundraising to obtain more support from new donors, to ensure required funds to flexibly cope with operational activities such as sending more grants and dispatching more expatriates to the field.

MSFJ simultaneously aims at sustainable growth based on a solid and stable financial basis secured by necessary and sufficient reserves. This will enable MSFJ to cope with an unexpected income shortfall due to unpredictable economic slowdown and immediately participate in emergency aid providing activity with flexibility in case of large-scale natural disasters.

## 収入、費用、支援費、ソーシャル・ミッション及び剰余金の推移

### Growth of Revenues, Expenditures, Grants, Social Mission and Reserves



### 付表 1. MSFJによる人道援助プログラム支援金の分配先 Grants allocation

MSFJはパートナーシップ関係にある、MSFフランス及びMSFスペイン等によって運営される援助プログラムに対して資金援助をしています。MSFJが2009年度に送金した支援金は、以下の国と地域で展開される各プログラムに分配されました。

MSFJ is sending grants to humanitarian programs which are managed by MSF France and MSF Spain under the partnership agreement. The grants sent by MSFJ were allocated and used for the operations of programs in the countries and regions indicated below tables.

国 / 地域 Country / Region		2009	2008	主要プログラム Major Reasons for Intervention	オペレーション支部 Operational Centers
アフリカ Africa					MSFフランス MSF France :F MSFスペイン MSF Spain :S
コンゴ民主共和国	DRC	348.3	125.0	内紛避難民への基礎医療提供 Armed conflict / Healthcare exclusion	F, S
ブルキナファソ	Burkina Faso	73.9	80.7	感染症、健康医療対応 Epidemic disease / Healthcare exclusion	F
ケニア	Kenya	170.0	140.0	内紛被災者対応、感染症対応 Armed conflict / Epidemic disease	F
ソマリア	Somalia	144.3	-	難民に対する医療、風土病対応 Armed conflict / Endemic disease	F
ジンバブエ	Zimbabwe	131.3	214.0	社会的暴力被害者救援、感染症対応 Social violence / Epidemic disease	S
中央アフリカ共和国	Central African Rep.	123.7	-	HIV等感染症治療、社会的暴力被害者救援 Epidemic disease / Social violence	F, S
スーダン	Sudan	62.7	225.0	避難民への心理ケア、栄養失調治療等 Armed conflict / Healthcare exclusion	S
ナイジェリア	Nigeria	36.9	-	難民への心理ケア、感染症治療等 Social violence / Epidemic disease	F
マラウイ	Malawi	50.0	100.0	HIV/AIDS対応 Epidemic disease	F
ニジェール	Niger	81.4	70.0	社会的暴力被害者救援、感染症対応 Social violence / Epidemic disease	S
計 Total		1,222.5	954.7		
アジア、中東 Asia, Middle East					
アルメニア	Armenia	135.0	130.0	耐性結核への対応 Epidemic disease	F
イラン	Iran	138.6	350.0	武力紛争難民への対応 Armed conflict	F
カンボジア	Cambodia	105.0	40.0	HIV/AIDS・結核対応 Epidemic disease	S
グルジア	Georgia	78.0	219.3	難民支援、社会的暴力、基礎医療 Armed conflict / Social violence / Healthcare exclusion	F
中国	China	48.4	100.0	感染症対応、四川地震被災者支援 Epidemic disease / Natural disaster	F
イラク	Iraq	45.0	-	武力紛争難民への医療提供 Armed conflict	F
パレスチナ他	Palestine Territories etc.	-	400.0	武力紛争難民への医療提供 Armed conflict	F, S
計 Total		550.0	1,239.3		
中南米 the Americas					
ペルー	Peru	12.5	-	呼吸器系疾患予防措置 Respiratory disease	S
コロンビア	Colombia	62.7	83.0	内紛避難民救援、社会的暴力被害者救援 Armed conflict / Social violence	S
計 Total		75.2	83.0		
中央アジア・コーカサス Central Asia and the Caucasia					
ロシア	Russia	30.0	30.0	武力紛争による避難民に対する心理ケア・医療提供、並びに結核治療 Armed conflict / Healthcare exclusion / Epidemic disease	F
計 Total		30.0	30.0		
緊急支援の実績 Emergency					
インドネシア等	Indonesia etc.	61.5		巨大地震被災者の救援 Natural disaster	S
フィリピン	the Philippines	4.3		台風に因る洪水被災者の救援 Natural disaster	MSFスイス MSF Switzerland
合計 Total		1,943.5	2,307.0		



付表 2. MSFJの過年度の収入・費用 Summary of revenues & expenditures in the past years

		(単位:千円/JPY Thousand)		
主要財務項目 Major accounts	事業年度 Accounting Year	Fiscal Year 2007	Fiscal Year 2008	Fiscal Year 2009
		自07年 1月 1日 至07年12月31日	自08年 1月 1日 至08年12月31日	自09年 1月 1日 至09年12月31日
寄付収入	Private Donations	2,308,287	3,136,827	4,012,438
一般個人寄付	From individuals	2,123,867	2,900,262	3,640,651
一般法人寄付	From Companies	131,150	162,493	290,704
その他団体	From other organization	53,271	74,072	81,083
その他収入	Other revenues	2,849	34,773	1,482
利息収入	Interest income	704	17,809	338
講演会収入	Revenue from Conference	525	463	719
物品販売	From goods sales	829	433	-
その他収入	Miscellaneous	791	16,068	425
経常収入 合計	Operating Revenues	2,311,136	3,171,600	4,013,920
①ソーシャル・ミッション	Social Mission	1,531,773	2,609,648	2,262,528
援助活動費	Mission	1,401,770	2,405,857	2,053,769
人道救助活動支援費	Grants	1,325,000	2,323,044	1,955,751
その他人道活動支援費	Other activities	25,388	23,120	15,053
国内救助活動費	Domestic Humanitarian	3,174	-	-
人件費	Personnel	34,957	42,320	53,272
旅費交通費	Travel expense	2,166	3,096	2,792
その他費用	Others	11,085	14,278	26,901
広報証言活動費	Awareness-raising	130,004	203,791	208,759
必須医薬品キャンペーン	Access Campaign	8,949	12,287	9,633
人件費	Personnel	29,660	41,071	38,397
広告宣伝費	Advertisement	44,400	37,874	36,418
業務手数料	Commissions	7,318	31,372	15,144
ニュースレター	News letter Campaign	20,788	46,801	79,942
その他(家賃・減価償却費等)	Rent, Depreciation etc	18,889	34,385	29,224
②募金活動費	Fundraising	536,052	775,207	974,702
人件費	Personnel	47,657	44,168	66,139
ダイレクトメール・ニュースレター	DM & News Letter	343,684	515,302	682,067
業務手数料	Commissions	61,147	116,195	141,568
広告宣伝費	Advertisement	29,497	47,470	17,756
搬送費	Delivery & mailing	15,694	20,352	24,015
その他(減価償却費等)	Depreciation etc	38,373	31,720	43,157
③マネージメント・一般管理費	Management & Administration	114,455	130,542	139,943
MSFインターナショナルオフィス経費	MSF International Office	18,036	23,254	21,668
人件費	Personnel	56,728	55,564	66,619
業務手数料	Commissions	12,029	15,355	7,285
旅費交通費	Travel expenses	7,744	7,633	7,928
減価償却費	Depreciation	5,845	6,816	7,515
その他	Others	14,073	21,920	28,929
経常費用 合計 (①+②+③)		2,182,280	3,515,398	3,377,172
経常外収入(寄付金)	Non-operating revenues	-	63,668	-
一般正味財産増減額	Net Assets Increase	128,856	△ 280,130	636,748
一般正味財産期末残高	Accounting Reserves	473,616	193,486	830,234

ソーシャル・ミッション・レシオ	Social Mission Ratio	70.1%	74.2%	67.0%
-----------------	----------------------	-------	-------	-------

プログラム支援金等の分配実績 Grants allocation performance					
MSFフランス	France	2008年以降パートナーシップ	1,000,000	1,587,000	1,315,000
MSFスペイン	Spain	2008年以降パートナーシップ	80,000	687,000	624,314
MSFスイス	Switzerland		150,000	33,403	4,281
MSFベルギー	Belgium		50,000	0	0
MSFオランダ	Holland		45,000	0	0
インターナショナルファンド	International fund		0	15,640	12,155
総計 Total			1,325,000	2,323,043	1,955,750

独立監査人の監査報告書	
2010年3月19日	
特定非営利活動法人 国境なき医師団 日本 会長 井田 覚 殿	
あずさ監査法人	
指 定 社 員 公認会計士 業務執行社員 高橋 宏	
当監査法人は、特定非営利活動法人 国境なき医師団 日本の2009年1月1日から2009年12月31日までの2009年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表総括表、正味財産増減計算書総括表、キャッシュ・フロー計算書及び財産目録総括表（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。この財務諸表等の作成責任は理事者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。	
当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。	
当監査法人は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、特定非営利活動法人 国境なき医師団 日本の2009年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の正味財産増減及びキャッシュフローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。	
特定非営利活動法人 国境なき医師団 日本と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。	
以 上	
[English Translation of the Auditors' Report Originally Issued in the Japanese Language]	
Independent Auditors' Report	
March 19, 2010	
Mr. Ida, the president of Not-for-Profit Organization Médecins Sans Frontières Japon :	
KPMG AZSA & Co. Hiroshi Takahashi (Seal) Designated and Engagement Partner Certified Public Accountant	
We have audited the financial statements, comprising the summary of balance sheet, the summary of net assets changes, the statement of cash flows and the summary of net assets of Not-for-Profit Organization Médecins Sans Frontières Japon for the year from January 1, 2009 to December 31, 2009 (hereinafter referred to as "the financial statements" ). The financial statements and supporting schedules are the responsibility of the management of Not-for-Profit Organization Médecins Sans Frontières Japon. Our responsibility is to express an opinion on the financial statements and supporting schedules based on our audit as independent auditors.	
We conducted our audit in accordance with auditing standards generally accepted in Japan. Those auditing standards require us to obtain reasonable assurance about whether the financial statements are free of material misstatement. An audit is performed on a test basis, and includes assessing the accounting principles used, the method of their application and estimates made by management, as well as evaluating the overall presentation of the financial statements. We believe that our audit provides a reasonable basis for our opinion.	
In our opinion, the financial statements referred to above present fairly, in all material respects, the financial position of Not-for-Profit Organization Médecins Sans Frontières Japon as of December 31, 2009 and the changes in its net assets and its cash flows for year then ended in conformity with public service corporation accounting principles generally accepted in Japan.	
Our firm and the engagement partner have no interest in Not-for-Profit Organization Médecins Sans Frontières Japon which should be disclosed pursuant to the provisions of the Certified Public Accountants Law of Japan.	



特定非営利活動法人 国境なき医師団日本

正味財産増減計算書総括表

自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日

(単位:円)

科 目	2009年度		2008年度		増 減	
	金 額	比率	金 額	比率		
I. 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益		(注5)		(注5)		
① 寄付収入	4,012,438,158	100.0%	3,136,827,174	100.0%	875,610,984	27.9%
一般個人寄付収入(注1)	3,640,651,196	90.7%	2,900,262,302	92.5%	740,388,894	25.5%
一般法人寄付収入(注1)	290,704,372	7.2%	162,492,511	5.2%	128,211,861	78.9%
その他の団体からの収入(注1)	81,082,590	2.1%	74,072,361	2.3%	7,010,229	9.5%
② その他の収入	1,481,652		34,773,009		△ 33,291,357	-
講演会による収入	719,441		463,030		256,411	55.4%
利息収入	337,651		17,808,514		△ 17,470,863	-
その他(会費、為替評価損益等)	424,560		16,501,465		△ 16,076,905	-
経常収益 合計	4,013,919,810		3,171,600,183		842,319,627	26.6%
(2) 経常費用		(注5)		(注5)		
■ ソーシャル・ミッション(①+②)	2,262,527,197	67.0%	2,609,647,881	74.2%	△ 347,120,684	-13.3%
① 人道援助活動費(プログラム)	2,053,768,521	60.8%	2,405,856,879	68.4%	△ 352,088,358	-14.6%
海外での人道援助プログラム支援費(注2)	1,955,751,339		2,323,043,699		△ 367,292,360	-15.8%
その他の人道活動支援(DNDI)(注3)	15,052,910		23,119,740		△ 8,066,830	-34.9%
人件費	53,271,541		42,319,600		10,951,941	25.9%
その他(旅費、家賃、減価償却費等)	29,692,731		17,373,840		12,318,891	70.9%
② 広報活動費	208,758,676	6.2%	203,791,002	5.8%	4,967,674	2.4%
必須医薬品キャンペーン支援金	9,633,230		12,287,252		△ 2,654,022	-21.6%
人件費	38,396,587		41,071,325		△ 2,674,738	-6.5%
広告宣伝費	36,418,287		37,873,800		△ 1,455,513	-3.8%
ニュースレターキャンペーン費用	79,941,985		46,801,000		33,140,985	70.8%
業務手数料	15,144,270		31,372,346		△ 16,228,076	-51.7%
その他(家賃、旅費、減価償却費等)	29,224,317		34,385,279		△ 5,160,962	-15.0%
■ 募金活動費	974,701,851	28.9%	775,207,084	22.1%	199,494,767	25.7%
人件費	66,139,497		44,168,302		21,971,195	49.7%
DM・ニュースレター等キャンペーン費用	682,067,339		515,301,943		166,765,396	32.4%
業務手数料	141,567,712		116,194,684		25,373,028	21.8%
搬送費・電郵費	24,014,705		20,352,265		3,662,440	18.0%
広告宣伝費	17,755,500		47,469,586		△ 29,714,086	-62.6%
その他(家賃、旅費、減価償却費等)	43,157,098		31,720,304		11,436,794	36.1%
■ マネージメント及び一般管理費	139,943,026	4.1%	130,542,920	3.7%	9,400,106	7.2%
MSFインターナショナル経費負担金	21,667,664		23,254,490		△ 1,586,826	-6.8%
人件費	66,618,697		55,563,992		11,054,705	19.9%
アソシエーション関連経費	8,623,178		8,240,219		382,959	4.6%
その他(減価償却費、家賃、交通費等)	43,033,487		43,484,219		△ 450,732	-1.0%
経常費用 合計	3,377,172,074	100.0%	3,515,397,885	100.0%	△ 138,225,811	-3.9%
2. 経常外増減の部						
経常外収益の部	0	-	63,667,994	-	△ 63,667,994	-
当期経常外増減額	0	-	63,667,994	-	△ 63,667,994	-
当期一般正味財産増減額	636,747,736	-	△ 280,129,708	-	916,877,444	-
一般正味財産期首残高	193,485,970	-	473,615,678	-	△ 280,129,708	-
一般正味財産期末残高	830,233,706	-	193,485,970	-	636,747,736	-
II. 指定正味財産増減の部						
1. 収入の部 使途指定寄付金収入(注4)	69,040,278	-	55,425,544	-	13,614,734	24.6%
2. 支出の部 一般正味財産への振替額(注4)	69,040,278	-	55,425,544	-	13,614,734	24.6%
当期指定正味財産増減額	0	-	0	-	0	-
指定正味財産期首残高	0	-	0	-	0	-
指定正味財産期末残高	0	-	0	-	0	-
III. 正味財産期末残高	830,233,706	-	193,485,970	-	636,747,736	-

(注1) 指定正味財産増減の部からの振替え及び現物寄付を含む。  
(注2) MSFのオペレーティング支部(フランス、スペイン及びスイス)へ送金。  
(注3) DNDI(非営利団体・顧みられない病気のイニシアティブ)  
(注4) 使途指定寄付金については、(注2)の一部として各プログラムへ分配した。  
(注5) 経常収益及び経常費用項目における比率は、夫々、寄付収入の総額及び経常費用の総額に対する比率である。

[English Translation of the Summary of Net Assets Changes Originally Issued in Japanese Language]

Non-Profit Organization Médecins Sans Frontières Japon

Summary of Net Assets Changes

Fiscal Year 2009 (From January 1, 2009 To December 31, 2009)

(Unit: JPY)

Title	Fiscal Year 2009		Fiscal Year 2008		Change	
	Amount	Ratio	Amount	Ratio	Amount	Ratio
I. Non-earmarked Net Assets Changes						
1. Changes in Operating Item						
(1) Operating Revenues		(※5)		(※5)		
① Donations	4,012,438,158	100.0%	3,136,827,174	100.0%	875,610,984	27.9%
Donations from private donors(※1)	3,640,651,196	90.7%	2,900,262,302	92.5%	740,388,894	25.5%
Donations from private companies(※1)	290,704,372	7.2%	162,492,511	5.2%	128,211,861	78.9%
Donations from other organizations(※1)	81,082,590	2.1%	74,072,361	2.3%	7,010,229	9.5%
② Other Revenues	1,481,652		34,773,009		△ 33,291,357	-
Revenues from conference	719,441		463,030		256,411	55.4%
Interest income	337,651		17,808,514		△ 17,470,863	-
Others (Membership fee etc)	424,560		16,501,465		△ 16,076,905	-
Total Operating Revenues	4,013,919,810		3,171,600,183		842,319,627	26.6%
(2) Operating Expenditure		(※5)		(※5)		
■ Social Mission Expenditure(①+②)	2,262,527,197	67.0%	2,609,647,881	74.2%	△ 347,120,684	-13.3%
① Program & Program Support	2,053,768,521	60.8%	2,405,856,879	68.4%	△ 352,088,358	-14.6%
Direct financial support to the field(Grants)(※2)	1,955,751,339		2,323,043,699		△ 367,292,360	-15.8%
Other humanitarian activities (DNDI)(※3)	15,052,910		23,119,740		△ 8,066,830	-34.9%
Personnel expenses	53,271,541		42,319,600		10,951,941	25.9%
Other expenses (Office rent, Depreciation etc)	29,692,731		17,373,840		12,318,891	70.9%
② Awareness-raising / Temoignage	208,758,676	6.2%	203,791,002	5.8%	4,967,674	2.4%
Contribution to Access Campaign	9,633,230		12,287,252		△ 2,654,022	-21.6%
Personnel expenses	38,396,587		41,071,325		△ 2,674,738	-6.5%
Advertisement	36,418,287		37,873,800		△ 1,455,513	-3.8%
News Letter campaign cost	79,941,985		46,801,000		33,140,985	70.8%
Commissions	15,144,270		31,372,346		△ 16,228,076	-51.7%
Others (Commission, depreciation etc)	29,224,317		34,385,279		△ 5,160,962	-15.0%
■ Fundraising	974,701,851	28.9%	775,207,084	22.1%	199,494,767	25.7%
Personnel expenses	66,139,497		44,168,302		21,971,195	49.7%
Direct mail and news letter campaign	682,067,339		515,301,943		166,765,396	32.4%
Commissions	141,567,712		116,194,684		25,373,028	21.8%
Mailing, Delivery & Telecommunication	24,014,705		20,352,265		3,662,440	18.0%
Advertisement	17,755,500		47,469,586		△ 29,714,086	-62.6%
Others (Mailing charge, rent, depreciation etc)	43,157,098		31,720,304		11,436,794	36.1%
■ Management & General Administration	139,943,026	4.1%	130,542,920	3.7%	9,400,106	7.2%
Support to MSF International Office	21,667,664		23,254,490		△ 1,586,826	-6.8%
Personnel expenses	66,618,697		55,563,992		11,054,705	19.9%
Association related expenses	8,623,178		8,240,219		382,959	4.6%
Others (Depreciation, rent, printing etc)	43,033,487		43,484,219		△ 450,732	-1.0%
Total Operating Expenditures	3,377,172,074	100.0%	3,515,397,885	100.0%	△ 138,225,811	-3.9%
2. Changes in Non-Operating Item						
Non-operating revenues	0	-	63,667,994	-	△ 63,667,994	-
Net increase in non-operating item	0	-	63,667,994	-	△ 63,667,994	-
Increase in non-earmarked Net Assets	636,747,736	-	△ 280,129,708	-	916,877,444	-
Non Earmarked Net Assets at Beginning of Year	193,485,970	-	473,615,678	-	△ 280,129,708	-
Non Earmarked Net Assets at End of Year	830,233,706	-	193,485,970	-	636,747,736	-
II. Earmarked Net Assets Changes						
1. Revenues Earmarked Donations(※4)	69,040,278	-	55,425,544	-	13,614,734	24.6%
2. Expenditures Transfer to Non-earmarked Net Assets Changes(※4)	69,040,278	-	55,425,544	-	13,614,734	24.6%
Changes in earmarked Net Assets	0	-	0	-	0	-
Earmarked Net Assets at Beginning of Year	0	-	0	-	0	-
Earmarked Net Assets at End of Year	0	-	0	-	0	-
III. Net Assets at End of Year	830,233,706	-	193,485,970	-	636,747,736	-

Notes: (※1) Transfer from "Earmarked Net Assets Changes" and in-kind donations are included.  
(※2) Funds were allocated to the programs through MSF Operating Centers (Paris, Barcelona and Geneva).  
(※3) DNDI: Drugs for Neglected Diseases initiative  
(※4) Earmarked donations were also allocated to the programs with the other grants(※2).  
(※5) Ratios shown in the columns of operating revenues and expenditures are ratios to total donations and total expenditures respectively.



特定非営利活動法人 国境なき医師団日本

貸借対照表総括表

平成21年12月31日現在

(単位:円)

科 目	当 期 (2009)	前 期 (2008)	差 額
I. 資産の部			
1.流動資産			
現金及び預金	1,071,899,569	544,764,465	527,135,104
未収入金(注1)	72,628,755	69,523,453	3,105,302
貯蔵品	115,349	78,107	37,242
その他未収入金	598,289	475,434	122,855
前払費用	5,454,867	2,302,523	3,152,344
立替金	31,375,454	22,744,382	8,631,072
仮払金	555,818	1,074,504	△ 518,686
貸倒引当金	△ 436,000	△ 418,000	△ 18,000
流動資産合計	1,182,192,101	640,544,868	541,647,233
2.固定資産			
建物附属設備	31,394,465	39,410,073	△ 8,015,608
事務用什器・備品	19,280,563	22,138,076	△ 2,857,513
ソフトウェア	3,497,834	1,306,744	2,191,090
リース資産	1,649,507	22,275,058	△ 20,625,551
長期差入保証金	30,455,970	30,343,970	112,000
固定資産合計	86,278,339	115,473,921	△ 29,195,582
資産合計	1,268,470,440	756,018,789	512,451,651
II. 負債の部			
1.流動負債			
未払金(注2)	401,356,705	519,335,029	△ 117,978,324
預り金等	1,240,280	492,500	747,780
短期リース債務	13,360,017	14,480,975	△ 1,120,958
未払税金等	0	74,000	△ 74,000
流動負債合計	415,957,002	534,382,504	△ 118,425,502
2.固定負債			
長期リース債務	14,790,298	28,150,315	△ 13,360,017
退職給与引当金	7,489,434	0	7,489,434
固定負債合計	22,279,732	28,150,315	△ 5,870,583
負債合計	438,236,734	562,532,819	△ 124,296,085
III. 正味財産の部			
一般正味財産	830,233,706	193,485,970	636,747,736
正味財産合計	830,233,706	193,485,970	636,747,736
負債及び正味財産合計	1,268,470,440	756,018,789	512,451,651

(注1) 外部業者に集金委託しているもの。業者による集金は貸借対照表日現在完了している。  
(注2) オペレーティング支部への、緊急救助活動支援金を含む。

[English Translation of the Summary of Balance Sheet Originally Issued in Japanese Language]

Non-Profit Organization Médecins Sans Frontières Japon

Summary of Balance Sheet

(As of December 31, 2009)

(Unit: JPY)

Title	2009	2008	Changes
I. Assets			
1. Current Assets			
Cash and cash equivalents	1,071,899,569	544,764,465	527,135,104
Accounts receivable (※1)	72,628,755	69,523,453	3,105,302
Supplies	115,349	78,107	37,242
Other receivable	598,289	475,434	122,855
Prepaid expenses	5,454,867	2,302,523	3,152,344
Advances	31,375,454	22,744,382	8,631,072
Suspense payment	555,818	1,074,504	△ 518,686
Bad debt allowance	△ 436,000	△ 418,000	△ 18,000
Total Current Assets	1,182,192,101	640,544,868	541,647,233
2. Non Current Assets			
Buildings and structures	31,394,465	39,410,073	△ 8,015,608
Equipment and fixtures	19,280,563	22,138,076	△ 2,857,513
Software	3,497,834	1,306,744	2,191,090
Leased assets	1,649,507	22,275,058	△ 20,625,551
Long-term deposits	30,455,970	30,343,970	112,000
Total Non Current Assets	86,278,339	115,473,921	△ 29,195,582
Total Assets	1,268,470,440	756,018,789	512,451,651
II. Liabilities			
1. Current Liabilities			
Accounts payable (※2)	401,356,705	519,335,029	△ 117,978,324
Deposits received	1,240,280	492,500	747,780
Short-term lease obligation	13,360,017	14,480,975	△ 1,120,958
Taxes payable	0	74,000	△ 74,000
Total Current Liabilities	415,957,002	534,382,504	△ 118,425,502
2. Non Current Liabilities			
Long-term lease obligation	14,790,298	28,150,315	△ 13,360,017
Provision for retirement benefits	7,489,434	0	7,489,434
Total Non Current Liabilities	22,279,732	28,150,315	△ 5,870,583
Total Liabilities	438,236,734	562,532,819	△ 124,296,085
III. Net Assets			
Non-earmarked Net Assets	830,233,706	193,485,970	636,747,736
Total Net Assets	830,233,706	193,485,970	636,747,736
Total Liabilities and Net Assets	1,268,470,440	756,018,789	512,451,651

Notes: (※1) Collection from donors has already been completed by outsourced vendors as of balance sheet date.  
(※2) Balance of payables of agreed grants for emergency cases are included.



財務諸表への注記

1. 財務諸表の作成基準

国境なき医師団日本(以下“MSFJ”)の財務諸表は、MSFJ の定款に従い、日本において一般に公正妥当と認められる会計原則 (“Japanese GAAP”) に基いて作成されている。同原則は国際財務報告基準(International Financial Reporting Standards)が求める適用要件や開示上の要件とは、幾つかの点で相違している。尚、事業活動毎の分類等、会計処理の細部については、MSF各支部との間で共通して適用する「MSF GAAP」に準拠している。

2. 重要な会計方針

2-1) 固定資産の減価償却の方法

- ①有形固定資産  
定額法によっている。(耐用年数は建物付属設備及びオフィス家具は3-5年、備品は3年)
- ②ソフトウェア  
定額法によっている。(耐用年数は3年)

2-2) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

2-3) リース取引の処理方法

ファイナンス・リースに該当する取引はすべて「リース取引に係る会計基準」に準拠し、売買処理によってリース資産及びリース債務(短期及び長期リース債務)を計上する会計処理を行っている。尚、当該資産は償却資産並びにソフトウェアであり、5年又は3年に亘り減価償却している。

2-4) 退職給与引当金

当期において、有能な人材の確保及び定着率の向上により生産性を更に高める事を目的として、勤続5年以上の職員を対象とした退職金制度を導入した。これに基づき、当期末において、該当する職員が自己都合により退職する場合の要支給額につき、退職給与引当金(7.5百万円)を計上している。

3. 収入の認識

募金活動により獲得した寄付収入は原則として、現金主義に基づき認識している。  
一部の集金代行委託分に係る未収寄付金については、代行業者による集金業務が当該年度内に完了し、且つ集金業者からの計算書により金額及び入金時期が確定していると判断されるものについては、当該期間の収益として認識する。

現物寄付について

MSFJは金銭以外にも、オフィス用IT機器、マイレージ、その他役務の提供という形でも支援を受けている。これらについては合理的に取得価額を見積り、寄付収入として認識すると共に、事業供用時点で各費用に計上している。合理的な金額の見積りができないものは簿外としている。主要なものに、モリソン・フォスター弁護士事務所による顧問弁護士サービス等がある。

4. 費用について

費用については、全ての支出を主要な4事業活動毎に分類して表示している。尚、各事業活動に共通する間接経費については、実労働時間に基づいて算出した各事業活動毎の総職員数で按分し、夫々以下の4事業活動に配分している。

4-1) 救援活動費

海外での援助活動(プログラム)に対する資金援助

パートナーシップ関係を結ぶMSFフランス及びMSFスペインが運営する現地プログラムに支援金を分配している。

海外での人道援助活動支援

「顧みられない病気のためのイニシアティブ(Drugs for Neglected Diseases initiative)」に対する資金援助。2014年まで継続。

プログラムサポート活動

MSFJは5つのオペレーティング支部の人材ニーズに応じ、フィールドにて人道援助活動に従事するスタッフの採用手続き、ビザ取得等の渡航準備、及び各種の渡航前国内トレーニングを経た後に海外現地に派遣している。

4-2) 広報活動費

MSFJはコアな活動の一つとして、世界各地での人道救助活動の現場の最新情報を、ホームページ、展示会、メディアを通して一般社会に周知する活動を行っている。

必須医薬品キャンペーンへのファイナンス(Campaign for Access to Essential Medicines)

同キャンペーンは、MSFが1999年以来世界規模で展開しているもので、様々な感染症で苦しむ人々に安価で効果的な治療薬を提供できるよう、各国政府、国際機関、製薬会社に対し働き掛けを行っている。他の支部と共にMSFJも応分の資金援助をしており、取りまとはMSFインターナショナル・オフィスが行う。

4-3) 募金活動費

MSFJは、更なる支援を募るための募金調達活動を行っている。主な費用は、夏冬のダイレクトメール・キャンペーン、ニュースレター発行等に要する費用、ドナー情報管理システムのメンテナンス費用、募金回収に伴う各金融機関等への扱い手数料、職員の人件費、旅費交通費並びに減価償却費等である。

4-4) マネージメント及び一般管理費

マネージメント、人事・財務・経理等の管理部門の間接経費である。他にMSFインターナショナル・オフィスの経費負担分を含む。同オフィスはネットワークで結ばれたMSF全19支部間の調整業務を行う組織。運営費につき全19支部が応分の負担をしている。

5. 基本財産及び特定財産の増減額、その残高及び財源等の内訳

指定正味財産・一般財産として受入れた資産の内、基本財産及び特定資産として区分・運用しているものはない。

6. 担保に供している資産

該当事項はない。

7. 固定資産の取得価額・減価償却累計額及び当期末残高

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物付属設備	40,078,040	8,683,575	31,394,465
什器	13,189,573	4,284,172	8,905,401
器具備品	23,100,602	13,565,359	9,535,243
ビデオ機器	2,717,532	1,877,613	839,919
ソフトウェア	6,753,210	3,255,376	3,497,834
償却資産 計	85,838,957	31,666,095	54,172,862
建物付属設備	456,012	456,012	0
器具備品	2,179,680	2,179,680	0
ソフトウェア	59,382,251	57,732,744	1,649,507
リース資産(合計)	62,017,943	60,368,436	1,649,507
総合計	147,856,900	92,034,531	55,822,369

8. 債権及び債務の当期末残高

債権の額及び貸倒引当金の当期末残高は次の通りである。

(単位:円)

科 目	債 権 額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収寄付金(株式会社ジャックス)	72,628,755	436,000	72,192,755
その他未収金	598,289	0	598,289
合計	73,227,044	436,000	72,791,044

9. 未払金の当期末残高

未払金(事業経費)の主なものは、以下の通りである。

(単位:円)

相 手 先	金 額
RR ドネリー	152,469,082
アド:ダイセン	90,799,188
共同印刷	46,111,408
朝日広告社	14,864,545
その他	38,516,586
合計	342,760,809

10. 保証債務等の偶発債務

該当事項はない。

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価額

該当事項はない。

12. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当事項はない。

13. 関連当事者との取引の内容

該当事項はない。

14. 重要な後発事象

該当事項はない。

15. MSF他支部との主要取引

当期の人道援助プログラム支援金の支部別実績

(単位:円)

MSFフランス	1,315,000,000
MSFスペイン	624,314,601
MSFスイス	4,281,295
MSFインターナショナル・オフィス	12,155,443
合計	1,955,751,339



Notes to Financial Statements

1. Basis for preparing the Financial Statements

The financial statements of Médecins Sans Frontières Japon (hereinafter “MSFJ”) have been prepared in accordance with the articles of association of MSFJ, in compliance with accounting principles generally accepted in Japan (“Japanese GAAP”), which are different in certain respects in terms of application and disclosure requirements from International Financial Reporting Standards (IFRS). Detailed methods of accounting such as classification of expenses by activity etc. are in compliance with MSF GAAP, which is applicable for all of MSF sections.

2. Summary of Significant Accounting and Reporting Policies

2-1) Depreciation of fixed assets

Depreciation is calculated on a straight-line method over the expected useful lives of the assets.

Category of Fixed Assets	Period
Buildings and structures	3-5 years
Office furniture	3-5 years
Equipment ( IT, Video & Audio )	3 years
Software	3 years

2-2) Computation of consumption tax

All amounts stated are inclusive of national consumption tax and local consumption tax.

2-3) Leased assets

Financing leases are accounted for in accordance with “the accounting standards for leased assets” and MSFJ recognizes the leased assets and the lease obligations (short-term and long-term lease obligation) on the balance sheet. The depreciation periods of the leased assets are 5 years for buildings and structures and 3 years for software .

2-4) Retirement Benefit Plan

Effective 2009, MSFJ adopted Retirement Benefit Plan for the staffs who have worked for 5 years in order to attract capable staffs for longer staying in MSFJ to raise and maintain job productivity. Based on this, reserves were booked with the amount which would be required if all staffs who are applicable voluntarily retired as of the balance sheet date.

3. Recognition of Revenues

Donations are basically recognized on cash basis, with exceptional cases where the donations will be collected by the outsourced vendors, which are recognized as receivables, subject to the fact that collection of donations from the individual donors' bank accounts have been finished before balance sheet date, and confirmation of amounts and payment date in writing.

With regard to in-kind donations which MSFJ sometimes receives in the form of free provision of office equipment like PCs etc., we recognize revenues upon receipt based on market price and also post expenses when used for humanitarian activities. However as for the contributions by providing services on pro-bono basis, we do not present in our financial statements due to inability of evaluation.

4. Operating Expenditures

Expenditures are classified into 4 types of activities by nature as below. All expenses are allocated to one of the categories. The common expenses to all activities are allocated based on allocation key of headcounts calculated based on actual working hours employed.

4-1) Program & program Support

-Direct program support

This is related to the grants to be sent to each operating program located in the countries through Operating Centers according to finance agreements under existing Resource Sharing Agreement.

-Other humanitarian activities

Financial support to DNDi( Drugs for Neglected Diseases initiative)

-Headquarter's program support

Program support includes costs related to all expenses incurred in order to carry out recruiting expatriates volunteers for program operation, required training session as well as preparation for departure to the fields.

4-2) Awareness-raising activities

This includes all expenses incurred in connection with MSFJ's activity of advocacy regarding current situation about the program sites, including expenses of MSFJ's participation in finance to the Campaign for Access to Essential Medicines. The Access to Essential Medicines Campaign is pushing to lower the prices of existing medicines, to bring abandoned drugs back into production, to stimulate research and development for diseases that primarily affect the poor, and to overcome other barriers to access.

4-3) Fundraising activities

MSFJ implements fundraising activities to obtain more funds to increase grants to program operations. For this purpose, MSFJ launches campaigns such as direct mailing and news letter mailing. On the other hand, MSFJ maintains donor management system not only for data management of all donors but also for follow-up care to send receipts and thank-you letter.

4-4) Management and administrative expenses

This includes expenses incurred for the management and administration of MSFJ office. They consist primarily of expenses associated with executive management, finance and human resources management, internal communication and associative life of the organization.

5. The changes, balances and breakdown of the endowment and the special funds

MSFJ has no such assets as being classified in the endowment and/or special funds and as being invested, among the funds which were accepted as earmarked and non-earmarked net assets.

6. Assets pledged as collateral

N/A

7. Acquisition costs, accumulated depreciations and the carrying amounts of fixed assets at the end of current fiscal year

(Unit:JPY)

Title	Acquisition costs	Accumulated depreciation	Carrying amounts at the end of current year
Buildings and structures	40,078,040	8,683,575	31,394,465
Furniture	13,189,573	4,284,172	8,905,401
Equipment and fixtures	23,100,602	13,565,359	9,535,243
Video equipment	2,717,532	1,877,613	839,919
Software	6,753,210	3,255,376	3,497,834
Fixed assets without finance lease Total	85,838,957	31,666,095	54,172,862
Buildings and structures	456,012	456,012	0
Equipment and fixtures	2,179,680	2,179,680	0
Software	59,382,251	57,732,744	1,649,507
Leased assets Total	62,017,943	60,368,436	1,649,507
Grand Total	147,856,900	92,034,531	55,822,369

8. The amount of receivables, the balance of allowance for bad debts and receivables at the end of current fiscal year

The amount of receivables, the balance of allowance for bad debts and receivables at the end of current fiscal year are as follows.

(Unit:JPY)

Title	Amount	Bad debts allowance at the end of current year	Receivable at the end of current year
Account receivables for collected donations	72,628,755	436,000	72,192,755
Other receivables	598,289	0	598,289
Total	73,227,044	436,000	72,791,044

9. The major vendors for payables except grants at the end of current year

Customers	Amount (JPY)
RR Donerlly	152,469,082
Ad Daisen Co.Ltd	90,799,188
Kyodo printing	46,111,408
MSF Spain	14,864,545
Others	38,516,586
Total	342,760,809

10. Contingent liabilities

N/A

11. The description of the book value, fair value and valuation gains/losses of held-to-maturity securities

N/A

12. The description of and the fluctuation of the subvention received for the current period

N/A

13. The description about the transaction with the related parties

N/A

14. Significant subsequent events

N/A

15. Major transactions with other MSF sections are as follows.

Payments of grants to the operating centers for the current period

(Unit:JPY)

MSF France	1,315,000,000
MSF Spain	624,314,601
MSF Switzerland	4,281,295
MSF International Office	12,155,443
Total	1,955,751,339



MSFワールドワイド

## 2008年の 活動概況と財務

### スーダン

頻発する武力攻撃と暴力、蔓延する栄養失調、感染症の大流行、そして高い妊産婦死亡率など、窮状の続くスーダン。2008年には3240人のMSFスタッフが活動した。





※ p.34, 35, 37は、MSF全支部の活動を網羅した『MSF ACTIVITY REPORT 2008』（英語版）の抜粋です。  
2009年の実績は2010年7月に発表の予定です。

世界19カ国に支部を持つMSF。約65の国と地域で活動しました

2008年、国境なき医師団(MSF)は、約65の国と地域で医療・人道援助プログラムを実施しました。多様なニーズに対応すべく、MSFは毎年数多くのプログラムを開始あるいは終了、また、1つの国で複数のプログラムを実施することもあります。活動地では常に状況の変化を観察し、可能な場合には現地保健当局や他のNGOなどにプログラムの引き継ぎを行っています。

活動規模が大きい12の国・地域  
※ スーダンは南北を個別にカウント。

その他のMSFの活動国・地域



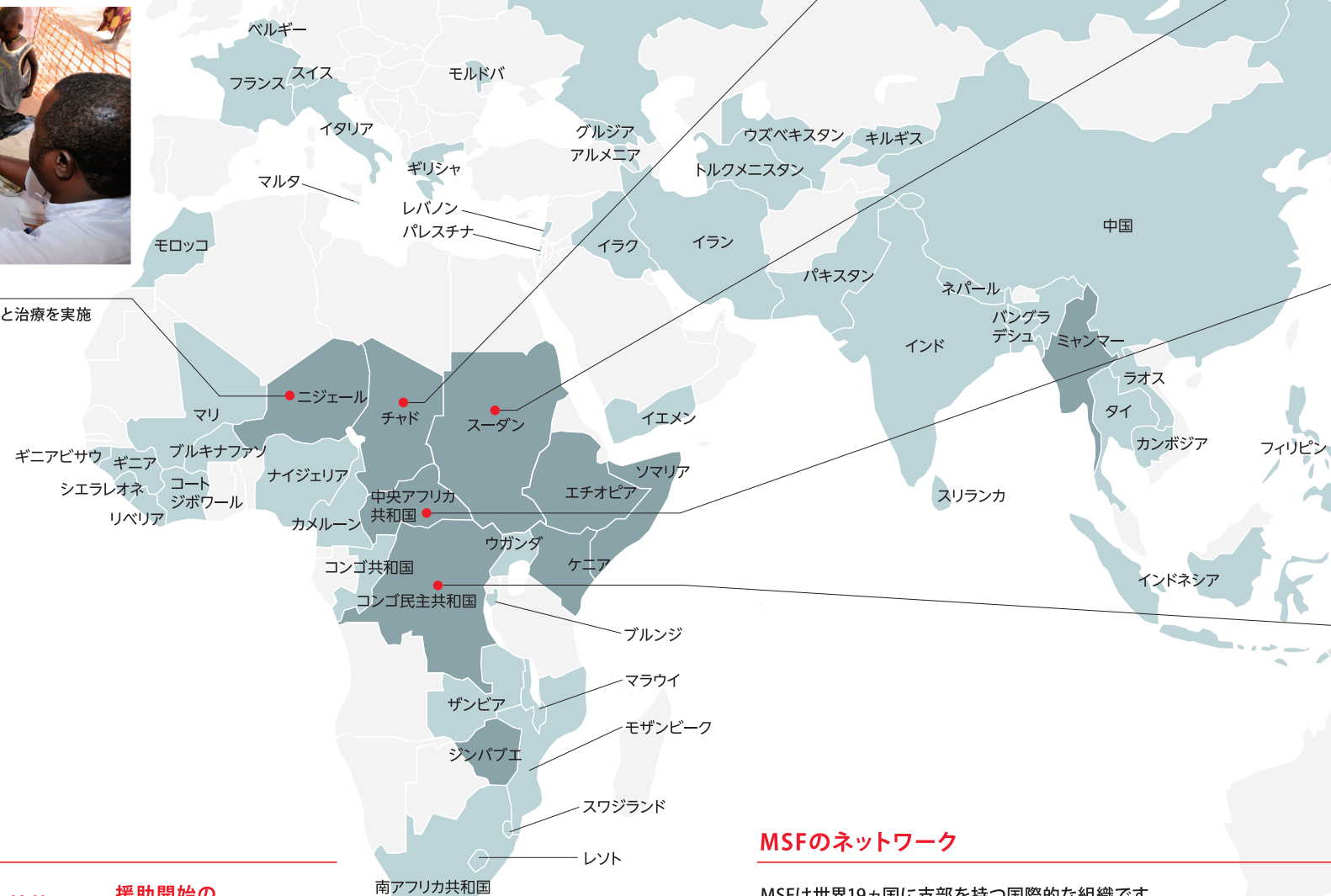
**ハイチ**

2010年1月の震災以前から提供している産科医療



## ニジェール

保健省と連携して髄膜炎の予防接種と治療を実施



反政府勢力や武装集団による戦闘が市民を困窮に陥れる



**スーダン**  
南スーダンのニョリ・キャンプに到着した国内避難民



## 中央アフリカ共和国

### 南西部ボダでの緊急栄養治療プログラムの様子



**コンゴ民主共和国**

北キブ州ムンゴテ国内避難民キャンプで暮らす子どもたち

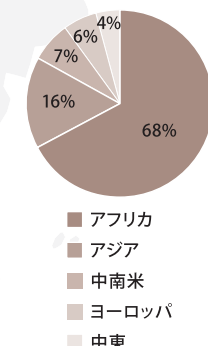
、パプアニューギニア

## MSFの活動概況(2008年実績) ※小数点以下は四捨五入

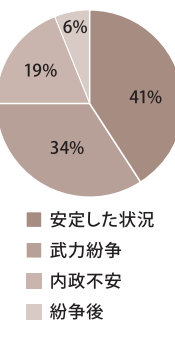
活動規模が大きい12の国・地域  
(プログラム支出額順)

1. コンゴ民主共和国
2. スーダン北部
3. ソマリア
4. エチオピア
5. スーダン南部
6. ニジェール
7. チャド
8. ミャンマー
9. ケニア
10. ジンバブエ
11. ハイチ
12. 中央アフリカ共和国

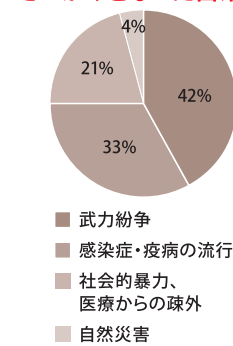
## 大陸別プログラム数



## 活動地の情勢



## 援助開始の きっかけとなった出来事



## MSFのネットワーク

MSFは世界19カ国に支部を持つ国際的な組織です。  
本部は存在せず、それぞれの支部が憲章に基づき、独立して活動を行いながら、緩やかなネットワークで結ばれています。

**オペレーション支部** プログラムの運営を担当し、医療チームを編成・派遣する。  
パートナー支部の機能も併設している。

オランダ	スイス	スペイン	フランス	ベルギー
------	-----	------	------	------

**パートナー支部** 活動に参加するスタッフを募集・派遣するほか、広報活動、募金活動を行う。

アメリカ合衆国	イギリス	イタリア	オーストラリア	オーストリア
カナダ	ギリシャ	スウェーデン	デンマーク	ドイツ
日本	ノルウェー	香港	ルクセンブルク	

**MSFインターナショナル**  
支部間の調整を行う機関。(スイス)

**付属組織**

ロジスティックセンター（フランス、ベルギーほか）  
物資の購入、管理、輸送を担当し、効率的な援助活動のための物資調達を支える。

**エピセクター（フランス）**  
疫学研究組織。MSFの活動地で得られた医学的情報の分析や調査研究報告などを行う。



全支部連結ベースの活動実績について

国境なき医師団(MSF)の5つのオペレーション支部は、現在約350のプログラムを運営し、個々のプログラムはMSF日本を含めた全19支部の財政的及び人的支援によって支えられています。こうした全19支部の1年間のグローバルな人道援助活動の成果は、スイスのMSFインターナショナルにより、国際財務報告基準に準じた連結ベースの年次報告書としてまとめられ、監査法人であるKPMG及びErnst & Youngによる共同監査を受けたのちに公表されています。

この連結ベースの年次報告書は、各活動地のプログラムごとの決算数値取りまとめ、19支部の連結手続き、会計監査に至るまでの作業に時間を要するため、当該年度の報告はMSF日本の翌年度の年次報告書にてご紹介しています。ここでは、2008年度の連結決算書から抜粋、組み替えを行った要約版の「正味財産増減計算書」(いわゆる損益計算書)を掲載します。

2008年度 MSF連結ベース「正味財産増減計算書」(要約)

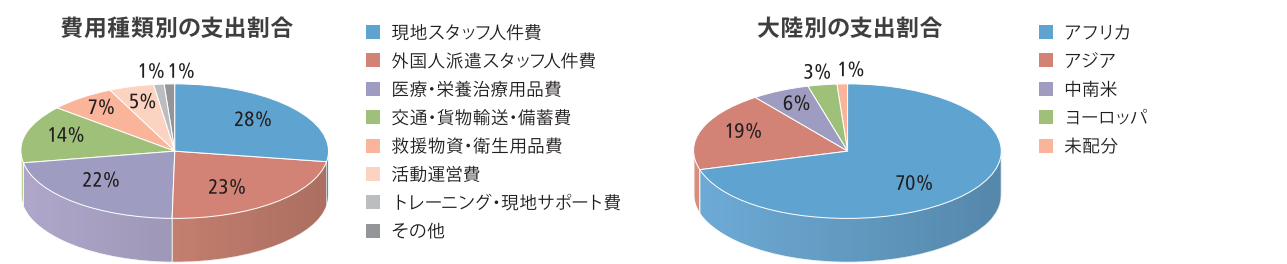
	2008 (千ユーロ)	2007 (千ユーロ)	増 減 (千ユーロ)	2008 円換算額 <sup>※※</sup> (百万円)
I. 経常収益				
1)個人支援者からの寄付収入 (MSF日本等19支部の寄付収入を含む)	510,118	438,906	71,212	76,518
・一般個人	422,275	389,628	32,647	63,341
・遺贈	87,719	49,148	38,571	13,158
・会費収入	124	129	△ 5	19
2)民間機関からの寄付収入 (MSF日本等19支部の寄付収入を含む)	77,307	79,827	△ 2,520	11,596
・一般法人	24,382	26,557	△ 2,175	3,657
・信託・財団等	28,723	32,295	△ 3,572	4,308
・その他の法人	24,201	20,975	3,226	3,630
1)～2) 計	587,425	518,733	68,692	88,114
3)公的機関からの収入 <sup>※</sup>	67,714	54,204	13,510	10,157
4)その他収入	20,319	19,788	531	3,048
・金利収入及び余資運用益	10,668	10,609	59	1,600
・設備売却及び役務提供による収益	4,443	3,961	482	666
・その他	5,208	5,218	△ 10	781
経常収益 合計	675,459	592,725	82,734	101,319
II. 経常費用				
1)ソーシャル・ミッション	526,764	467,568	59,196	79,015
■人道援助活動費				
・援助プログラム関連費用(MSF日本等19支部からの支援金を含む)	429,233	375,439	53,794	64,385
・各支部によるプログラム・サポート費	65,620	63,622	1,998	9,843
・その他の人道援助活動費	7,244	9,088	△ 1,844	1,087
人道援助活動費 計	502,097	448,149	53,948	75,315
■広報活動費	24,667	19,420	5,247	3,700
2)募金活動費	81,218	76,866	4,352	12,183
3)マネジメント及び一般管理費	40,170	32,843	7,327	6,026
4)所得税	89	97	△ 8	13
2)～4) 計	121,477	109,806	11,671	18,222
経常費用 合計	648,241	577,374	70,867	97,236
為替差損	△ 4,749	△ 3,241	△ 1,508	△ 712
差引当期正味財産増減	22,468	12,110	10,358	3,370

注) 上掲の計算書は、日本で監査を受けたものではありません。金額の小数点以下は四捨五入。

※ 公的機関には、欧州委員会人道支援事務局(ECHO)、ベルギー、カナダ、デンマーク、アイルランド、ルクセンブルク、オランダ、ノルウェー、スペイン、スウェーデン、スイス、イギリス政府などが含まれる。

※※ 1ユーロ=150円換算

支出内訳 (活動地におけるプログラム及び調整チームの支出)



活動地域

国／地域	百万ユーロ	(百万円) <sup>※※</sup>	国／地域	百万ユーロ	(百万円)	国／地域	百万ユーロ	(百万円)
アフリカ			アジア/ 中東			ヨーロッパ		
スーダン	47.2	(7,080)	ミャンマー	17.6	(2,640)	チェチェン/イングーシ/ダゲスタン	6.1	(915)
コンゴ民主共和国	43.8	(6,570)	イラク	12.2	(1,830)	ロシア	2.0	(300)
ソマリア	22.7	(3,405)	インド	6.2	(930)	イタリア	1.5	(225)
エチオピア	22.1	(3,315)	パキスタン	5.2	(780)	その他 <sup>※</sup>	2.5	(375)
ニジェール	21.1	(3,165)	カンボジア	4.4	(660)	合計	12.1	(1,815)
チャド	20.4	(3,060)	中国	4.4	(660)			
ケニア	17.1	(2,565)	タイ	4.0	(600)			
ジンバブエ	14.4	(2,160)	イエメン	3.8	(570)			
中央アフリカ共和国	12.8	(1,920)	パレスチナ	3.5	(525)			
ナイジェリア	9.7	(1,455)	イラン	3.0	(450)			
マラウイ	8.8	(1,320)	グルジア	2.9	(435)			
ウガンダ	8.7	(1,305)	ウズベキスタン	2.0	(300)			
モザンビーク	8.6	(1,290)	スリランカ	1.8	(270)			
リベリア	7.6	(1,140)	ネパール	1.8	(270)			
ブルキナファソ	6.0	(900)	バングラデシュ	1.5	(225)			
南アフリカ共和国	5.1	(765)	アルメニア	1.4	(210)			
シエラレオネ	4.3	(645)	インドネシア	1.4	(210)			
カメルーン	3.9	(585)	その他 <sup>※</sup>	4.1	(615)			
コートジボワール	3.2	(480)	合計	81.2	(12,180)			
ギニア	3.2	(480)						
マリ	2.5	(375)	中南米					
ブルンジ	1.9	(285)	ハイチ	14.3	(2,145)			
ザンビア	1.5	(225)	コロンビア	9.0	(1,350)			
スワジランド	1.4	(210)	ブラジル	1.0	(150)			
コンゴ共和国	1.0	(150)	その他 <sup>※</sup>	2.4	(360)			
その他 <sup>※</sup>	2.0	(300)	合計	26.7	(4,005)			
合計	301.0	(45,150)						

※「その他」は、プログラム支出が百万ユーロ(約1億5000万円)以下の国をまとめている。

※※ 1ユーロ=150円換算

スタッフ派遣実績

	2008		2007	
スタッフ派遣回数(年間)	4,617	100%	4,134	100%
医師	1,052	23%	1,117	27%
看護師・その他医療従事者	1,452	31%	1,303	32%
非医療従事者	2,113	46%	1,714	41%
初回派遣者数 <sup>※</sup> 全派遣者数に対するの比率	1,142	25% <sup>※</sup>	1,152	28% <sup>※</sup>
現地ポスト数	25,973	100%	24,348	100%
外国人派遣スタッフ	2,029	8%	1,994	8%
現地派遣スタッフ	23,944	92%	22,354	92%



2009年、国境なき医師団(MSF)日本は、16万9033名の個人、9425の企業・団体の皆様よりご支援をいただき、世界各国でのMSFの医療・人道援助活動に資金を提供することができました。苦境におかれた人びとに私たちが援助を届けることを可能にくださった皆様のご厚意に、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

株式会社シグマ  
銀座ステファニー化粧品株式会社

MSF日本では、企業・法人の皆様からの継続的なご支援を広く呼びかけるプログラムを立ち上げ、ご参加を募っています。継続的なご支援は、MSFが活動を行う国々の患者のもとに医療・人道援助を届ける力となります。

ご支援額は一口500万円より設定いただき、プログラム参加企業・法人の皆様へは、毎年4月(予定)に年次報告をさせていただきます。

電話：0120-999-199 (9:00～19:00 無休)  
E-mail：support@tokyo.msf.org

日本ヒューレット・パッカード株式会社  
デルタ航空スカイマイル  
株式会社ケイソー  
モリソン・フォースター外国法事務弁護士事務所

新日本管財株式会社互助会  
日立システムアンドサービス労働組合  
ブルーチップ株式会社  
あいおい損害保険株式会社  
株式会社リ―ガルコーポレーション  
株式会社CHINTAI  
エムスリー株式会社  
ヤフー株式会社  
株式会社ジャックス  
楽天KC株式会社  
NPO法人パイロット日本基金  
社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団  
社会福祉法人大阪ボランティア協会  
フェリシモ基金  
財団法人毎日新聞西部社会事業団  
株式会社こどものための柴基金

生活協同組合パルシステム東京  
株式会社電通  
日産自動車株式会社  
(順不同)

## ACジャパン 2009年-2010年支援キャンペーン

昨年度に引き続き、今年度も支援キャンペーン対象広告に選ばれました。駅貼りポスター、中吊り広告、テレビCMなどで展開されています。



## 音楽で寄付。

ACジャパンのMSF支援キャンペーンCMテーマソング「BEYOND THE BORDER」を携帯やパソコンからダウンロード購入いただくと、収益のすべてがMSFに寄付されるプロジェクトです。



BEYOND  
THE BORDER  
PROJECT

BEYOND  
THE BORDER PROJECT  
公式サイト》》  
[beyondtheborder.info](http://beyondtheborder.info)



エリック・ウアネス  
Eric Ouannes

国境なき医師団(MSF)日本は1992年に設立され、1997年に19カ国にあるMSFの支部の一つとして独立組織となりました。1999年に特定非営利活動法人(NPO法人)として東京都の認証を受け、2002年より認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)として国税庁の認定を受けています。

国境なき医師団の活動は、皆様からの寄付で実現しています。  
私たちとともに、命を救う力となってください。

国境なき医師団日本は「認定NPO法人」として国税庁の認定を受けています。  
国境なき医師団日本への寄付は、所得税、法人税などの優遇措置の対象となります。